

# 第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名：宮崎県 県土整備部

事業の名称：日向延岡新産業都市計画道路

愛宕通線（橋梁名：五ヶ瀬大橋）

街路整備事業

実施都市名：宮崎県延岡市

## 事業目的

都市計画道路愛宕通線(五ヶ瀬大橋)は、一級河川五ヶ瀬川を渡河する新設の橋梁であり、延岡市西部の環状線(以下、延岡西環状線)の中心に位置している。延岡西環状線は、市街地中心部に流入する交通を分散させ、慢性的な交通渋滞の緩和や快適な都市環境の確保を目的としている。五ヶ瀬大橋は、東九州道延岡JCT.ICと国道218号及び国道10号を結ぶ重要な経路として、市街地中心部に流入する交通量の軽減とともに、五ヶ瀬川を挟む南北の市街地を繋ぐ延岡市のシンボルの橋として建設された。

## 事業概要

事業名称:都市計画道路愛宕通線 街路整備事業

路線名:愛宕通線

事業箇所:宮崎県延岡市野地町～古川町

事業延長:橋長  $L=190.2\text{m}$

幅員:橋幅員  $W=16.0(23.8)\text{m}$

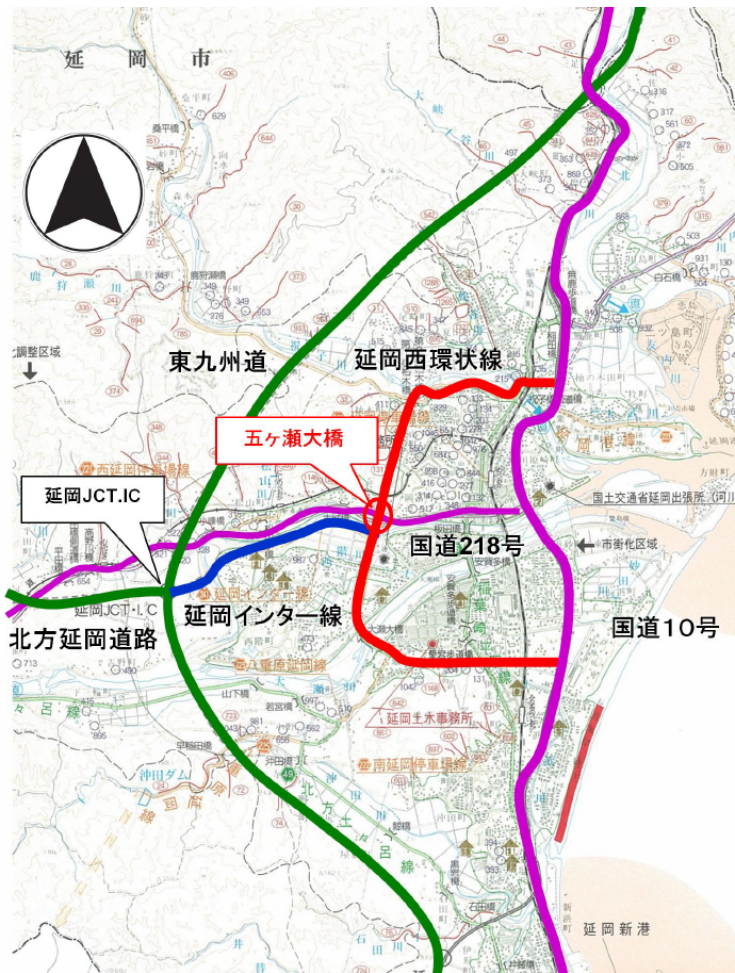
事業費:約19億円

事業実施期間:平成18年度～平成23年度

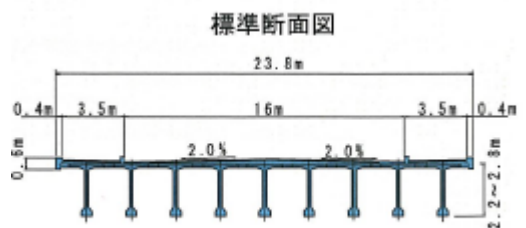
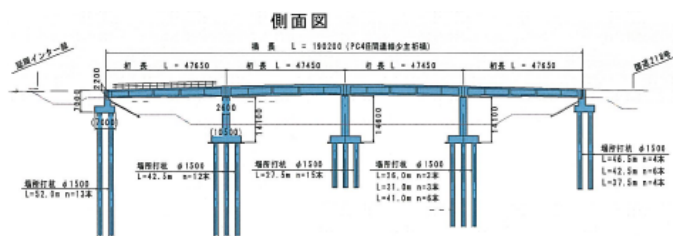
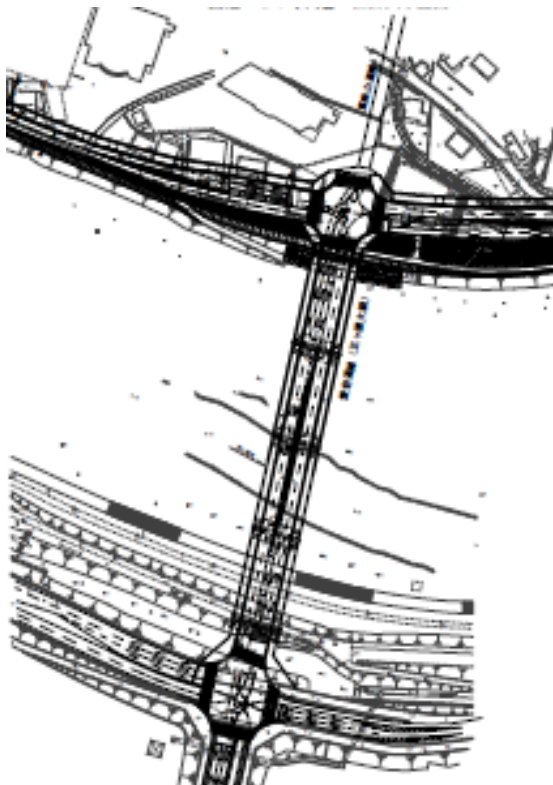
本事業は、一級河川五ヶ瀬川を渡河する新設の橋梁工事で、上部工はPC4径間連結少主桁橋、下部工は逆T式橋台、張出式橋脚の形式を採用している。

五ヶ瀬大橋の建設にあたっては、学識経験者、地域住民、行政から構成される「橋の景観を考える会」を設立し、地元の意見も反映させながら、橋面のデザインや色彩等を決定した。

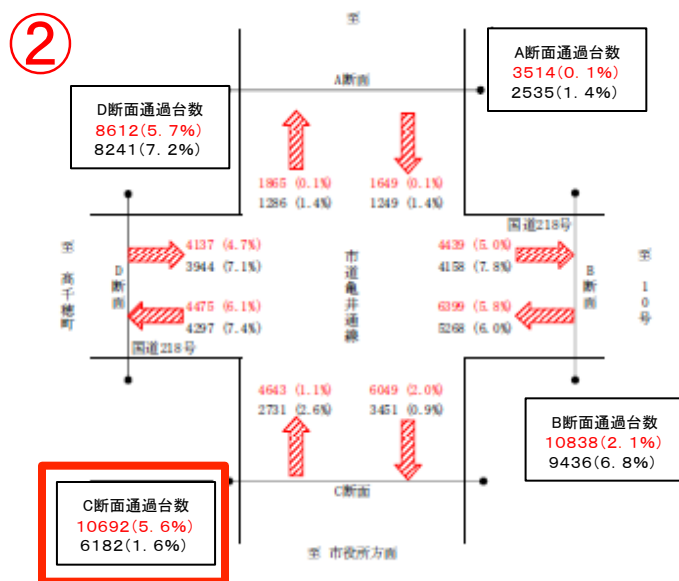
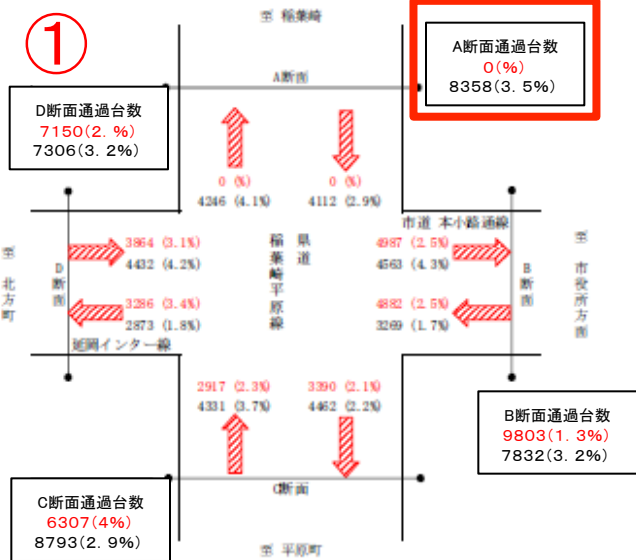
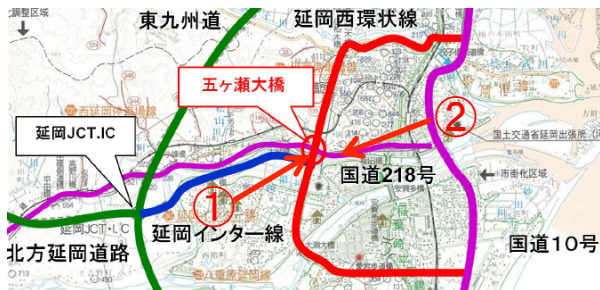
# 事業位置図



## 全体図(平面図・側面図・横断面図)



# 愛宕通線五ヶ瀬大橋の整備効果アピール資料



\*上段(赤文字)平成23年度調査結果自動車類合計台数  
\*下段(黒文字)平成24年度調査結果自動車類合計台数  
\*( )内表示は大型車進入率

\*上段(赤文字)平成23年度調査結果自動車類合計台数  
\*下段(黒文字)平成24年度調査結果自動車類合計台数  
\*( )内表示は大型車進入率

## ○事業概要

事業名: 街路事業  
路線名: 愛宕通線(五ヶ瀬大橋)  
事業箇所: 宮崎県延岡市野地町~古川町  
事業延長: 橋長 L=190.2m  
幅員: 橋幅員 L=16.0(23.8)m  
総事業費: 約19億円  
事業期間: 平成18年度~平成23年度

## ○交通量調査結果

供用前 実測 ①五ヶ瀬大橋 0台/12h  
供用後 実測 ① " 8358台/12h  
  
供用前 実測 ②市街地流入 10692台/12h  
供用後 実測 ② " 6182台/12h

## 「整備効果」

新設した五ヶ瀬大橋は、延岡西環状線の中心に位置しており、今回の事業完成により南北の市街地が繋がれることとなった。地域住民の利便性の向上はもとより、市街地に流入する交通が大幅に減少し、交通の分散・渋滞の軽減が図られた。通過交通量は、現在 8,358台/12hであり、将来交通量は約13,000台/日が見込まれている。

また、昨年12月には東九州道延岡JCT.IC~須美江IC間が開通し、五ヶ瀬大橋は延岡JCT.ICと国道218号及び国道10号を結ぶ経路として、益々重要な役割を果たしている。

## 「その他の事業効果」

「五ヶ瀬大橋」の名称は、延岡市のシンボルとして広く市民に親しまれるように公募により決定した。また、橋面のデザインは、学識経験者、地域住民、行政から構成される「橋の景観を考える会」で決められている。五ヶ瀬川沿いは、地域住民の散策コースとして利用されており、五ヶ瀬大橋は交通の分散・渋滞の軽減だけでなく、歩行者にも広く利用されている。

# 事業前写真

平成18年11月撮影



平成18年11月撮影



平成18年11月撮影



# 事業後写真

平成25年1月撮影



平成25年1月撮影



平成24年3月撮影



歩道舗装は、色彩やデザインで歩行者と自転車の通行帯を明確に分離した。



親柱と照明は、新しい延岡の玄関口にふさわしい重量感を感じさせるデザインにした。